

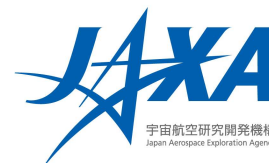
資料53-5

科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
(第53回) 2020. 2. 19

# アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-26) 結果報告について

令和2年2月19日

文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 宇宙利用推進室  
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 調査国際部



\*APRSAF: Asia-Pacific Regional Space Agency Forum

# APRSAF-26の開催結果



- ◆ 日 時: 令和元年11月26日(火)～29日(金)  
(分科会26-27日、全体会合28-29日)
- ◆ 場 所: 名古屋コンベンションホール
- ◆ テーマ: [Advancing Diverse Links Toward a New Space Era](#)  
(新たな宇宙時代を拓く多様な繋がり的发展)
- ◆ 主 催: 文部科学省、宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- ◆ 後 援: 内閣府宇宙開発戦略推進事務局、外務省、総務省、農林水産省、  
経済産業省、国土交通省、環境省、気象庁、JICA、JAMSTEC、  
愛知県、名古屋市
- ◆ 企 画: APRSAF運営委員会(ExCom)(インド、シンガポール、日本、ベトナム)
- ◆ 参加数: [31の国・地域、9国際機関から計469名](#)



開催テーマ”Advancing Diverse Links Toward a New Space Era”の下、

- ▶ 新たな取組として、**産業界（トヨタ自動車）**による「**基調講演**」や、アジア太平洋地域における**New Space**の活動を紹介する「**宇宙産業フォーラム**」を開催。全体として産業界からも多数の参加を得ながら、広い視点からの議論が活発に行われた。
- ▶ 全体会合では、「**宇宙探査セッション**」や「**宇宙の安定的な利用に向けた取組（宇宙デブリ低減等）に関するセッション**」も開催し、アジア太平洋地域でも**関心が高まりつつある政策課題についても議論**を行い、同地域内での連携・協働の重要性が確認された。
- ▶ 宇宙機関長と**若手**の対話セッションも設け、地球規模課題解決のために宇宙技術が出来ることや、50年後の宇宙活動の展望についても多様な視点から議論が行われた。
- ▶ 分科会等での議論を経て、同地域内の多国間協力推進のため、人材育成やデータ利用に関する**新たなイニシアティブやプログラム(7ページ参照)**を立ち上げた。
- ▶ 閉会にあたり、議論を総括して、今後25年間を見据えた当面10年間の目標を定めた「**名古屋ビジョン**」を採択。

- 今後25年間を見据えた当面10年間の目標として、以下の4つに取り組むことを確認。
  - (1) 広範な地上課題の解決の促進
  - (2) 人材育成や科学技術力の向上
  - (3) 地域の共通課題に対する政策実施能力の向上
  - (4) 地域のニュープレイヤーの参画促進と多様な連携の推進
  
- 上記目標の下、APRSAF自身の更なる発展のため、
  - ・ アジア・太平洋地域で新たな関心となりそうな分野の取り込み、対象分野の拡大
  - ・ 分科会の再編、新たなイニシアチブの立上げの検討等に取り組むことを合意。

# 参加者の反応・期待：今後のAPRSAFに向けて



## 【参加国・参加者の反応・期待】

- 宇宙機関関係者に加え、近年、**産業界**や**国際機関**、**宇宙政策担当者**など、参加者が多様化している。
- 初の試みとして開催した「宇宙産業フォーラム」をはじめ、**新たな政策課題に向けた議論を行う場**として、また、**アジア・太平洋地域における宇宙の安定的な利用の推進の場**としてAPRSAFが発展してきていることについて、多くの参加国・参加者から評価・期待の意見が多く寄せられている。
- 2022年以降のAPRSAFについて、他国から自国での開催希望が多数寄せられている。

【我が国の対応方針】 以下に資する場となるよう、一層戦略的に企画・運営。

- ①アジア・太平洋地域の宇宙利用の拡大や宇宙市場規模の拡大、ひいては我が国の産業振興に貢献。
- ②我が国との間で相互に利益のある関係の構築・維持（人材育成等）
- ③我が国の国際的プレゼンスの維持・向上。（ISSの利用機会の提供等）

## 【APRSAF-27】

- ◆ 日時：2020年10～11月頃（調整中）
- ◆ 場所：ベトナム・ハノイ

## 【APRSAF-28】

- ◆ 日時：2021年11月頃（調整中）
- ◆ 場所：インドネシア・バリ（調整）

# 参 考

# APRSAF-26の主なセッション



## 宇宙産業フォーラム（初）

- SPACETIDE(一般社団法人。新たな宇宙産業の発展を牽引する産業横断的なプラットフォーム)とアジア開発銀行(ADB)との共催で、26、27日の2日間夕方に実施。
- 宇宙関係スタートアップ、非宇宙業界、投資家、宇宙機関、政府機関等から多数の参加者。
- パネルディスカッションを通じて、法規制等の整備をはじめとした新しいビジネスを促進、保護するための環境づくりが重要との認識を共有。各国の宇宙産業の現状や宇宙ビジネスの新興国への貢献に係る課題についても議論。
- 次回のAPRSAFでも、開催する方向で調整中。

## 宇宙政策実務家ワークショップ（初）

- 地域における宇宙政策コミュニティの形成支援を目的にした企画を前々回APRSAFから連続開催。政策実務者のワークショップを、今回初開催。
- 今回新たに、宇宙法制に関するイニシアティブ「[National Space Legislation Initiative](#)」を立ち上げた。
- アジア・太平洋地域の政策実務家間で、国際的な規範を実行するための各国の法政策の取組について共有・相互学習を行いながら、地域の共通課題に対する法形成・政策実施能力の向上を図り、宇宙の安定的な利用に繋げていくことを目指す場として更なる発展を目指す。

## 次世代×宇宙機関長セッション（初）

- 10代を含む次世代の代表者がアイデアを発表し、宇宙機関長と意見を交換。
- 地球規模課題解決のために宇宙技術が出来ることや、50年後の宇宙活動の展望を議論。
- 次回のAPRSAFでも、実施する方向で調整中。

# APRSAF-26で新たに立ち上げた主な取組



## ① SAFE Evolution

アジア太平洋地域の衛星を持つ国々が衛星データを提供し合い多国間で利用可能にする取組

## ② JJ-NeST(JICA-JAXA Network for Utilization of Space Technology)

JICA-JAXAによるASEAN諸国等を対象とする留学及び研修を通じた長期人材育成プログラム

## ③ National Space Legislation Initiative

アジア・太平洋各国の宇宙関連国内法制定状況に関する報告書を作成し COPUOS法律小委員会に提出する取組

## ④ Kibo-RPC (Kibo Robot Programming Challenge)

イントボール (JAXA) 、Astrobee (NASA) を用いた国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」利用を通じた地域の次世代人材育成に貢献する取組